

読んでみよう 解いてみよう
せん太のワークシート

井原市立稲倉小（同市下稲木町）の6年生が、新型コロナウイルスに関連する「シトラスリボン」プロジェクトについて学びました。記事を読んで、質問に答えましょう。

コロナ差別なくしたい

井原市立稲倉小（同市下稲木町）の6年生が26日、新型コロナウイルス感染症患者や医療従事者に対する差別や偏見を防ぐ愛媛県発祥の「シトラスリボン」プロジェクトを普及させようと、考案者の甲斐朋香・松山大准教授から意図や込めた思いなどを聞いた。
 （岸本渉）

井原・稲倉小6年生



甲斐准教授とのオンライン会議に臨む6年生

シトラスリボン 考案者とビデオ会議

同プロジェクトは、いる。シトラス色のひもで三つの輪を作り、賛同者感染拡大に伴う精神的な自身の胸元などに付けストレスに対し、児童がコロナの治療を終えた人を温かく迎えられる地域内の大学教授や企業法の一つとしてプロジェクトのグループで提唱し、全が10日ほど前から上着の風習に着目したことを説明した。愛媛の特産品。

同小では、新型コロナウイルス会議システムを使って教室で講話。昨年春、新型コロナウイルスの治療を終えた人を温かく迎えられる地域を温かく迎えられる地域づくりの手段として、胸にリボンや羽根を付けて家庭など学区全体に賛同している。

甲斐准教授は、ビデオ会議に参加できるところがいい。まずは後輩たちに付けてもらいたい」と話している。

妹尾太雅君(12)は「気軽に参加できるところがいい。まずは後輩たちに付けてもらいたい」と話している。



6年生が自作したシトラスリボン

1月27日付、山陽新聞笠岡・井原・浅口圏版

のかんきつ類にちなんだ色や、三つの輪が地域、家庭、学校（職場）を意味することも紹介し「差別や偏見がないことが当たり前の社会にするために、みんなができることをしよう」と呼び掛けた。

Q1 ★★☆☆

「シトラスリボン」プロジェクトとはどんな活動ですか。
 第1、2段落に注目して、答えましょう。

Q2 ★☆☆☆

シトラスリボンの三つの輪は、何を意味していますか。第4段落から抜き出しましょう。

Q3 ★★★★★

新型コロナウイルスの差別や偏見をなくすために自分たちはどんなことができるか、周りの人と話し合しましょう。

「シトラスリボン」をインターネットで調べてみていいかも

